

PI方式を導入した緑地整備『『みどりの一里塚』仲宿』事業について

関東地方整備局 東京国道事務所管理第二課維持第一係長 小川 渉

1. はじめに

仲宿交差点は古くは中山道と川越街道が分岐する平尾の追分けに近く、現在は国道17号、山手通り及び首都高速道路が交差する古今の交通の要所です。

当該箇所は首都高速中央環状線建設のため、施工ヤードとして使用されてきましたが高速部分の



〔写真－1 着手前の仲宿交差点〕

完成に伴い、交通島の「みどり」を単に原形復旧するのではなく、より地域の方々に親しまれる緑地帯（地域が望む緑）とするために、計画段階からPI方式を導入し、緑地整備を進めることとしました。本稿においては検討委員会の設置から整備計画策定を経て工事施工及びボランティア・サポート・プログラム締結までの一連の概要を紹介します。

2. 緑化検討委員会の設置

2.1 位置付け、構成など

緑地整備計画を策定するにあたり、当該地域の歴史性や地域特性に調和し、かつ住民意見を反映させるために、地元住民、学識者等をメンバーとする『一般国道17号仲宿交差点緑化検討委員会』を平成13年3月16日に発足させました。

委員長には、東京大学大学院で森林風致を研究されている下村彰男教授に就いて頂き、地元住民の代表として近隣の2つの町会の町会長に参画頂きました。

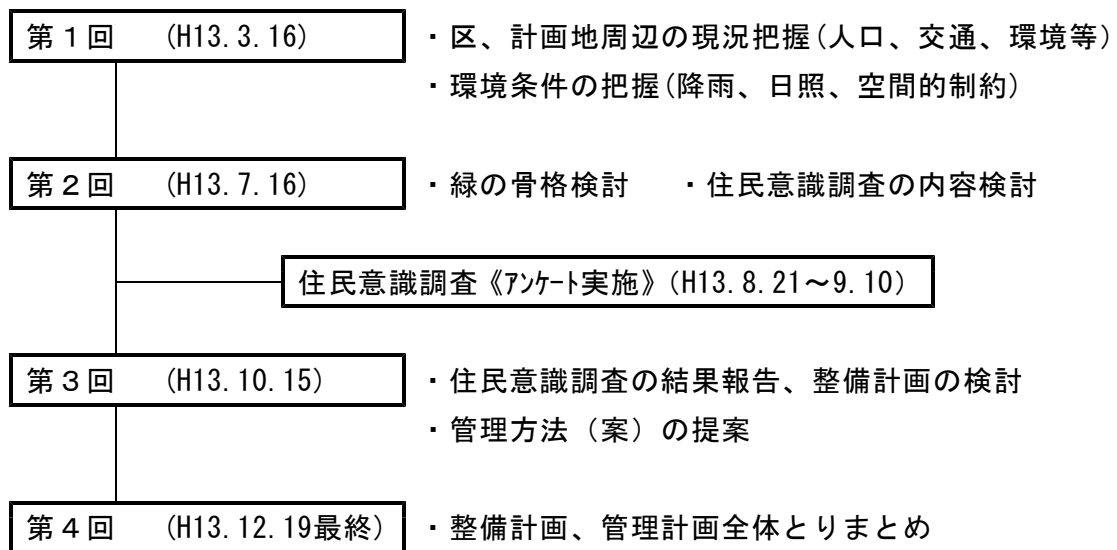
また、造園の専門家として、(財)日本造園学会の評議員、自転車利用者の見地も活かすため地元で活動するNPOの理事長のほか、関係行政機関から5名を加えた、合計10名の委員で構成しました。

2.2 委員会での検討経緯

住民参加型の計画策定を目標としたため、検討委員に地元代表として町会長の参加をもとめ、委員会での議論をオープンなものにしました。

また、地域住民の意見を広く収集する手段として、インターネットによる方法等もありますが、今回計画箇所は点的な整備であるため、周辺地域へのアンケートを実施

する方法を選定しました。なお、委員会の検討経緯は以下のとおり。



2.3 住民意識調査(アンケート調査)結果

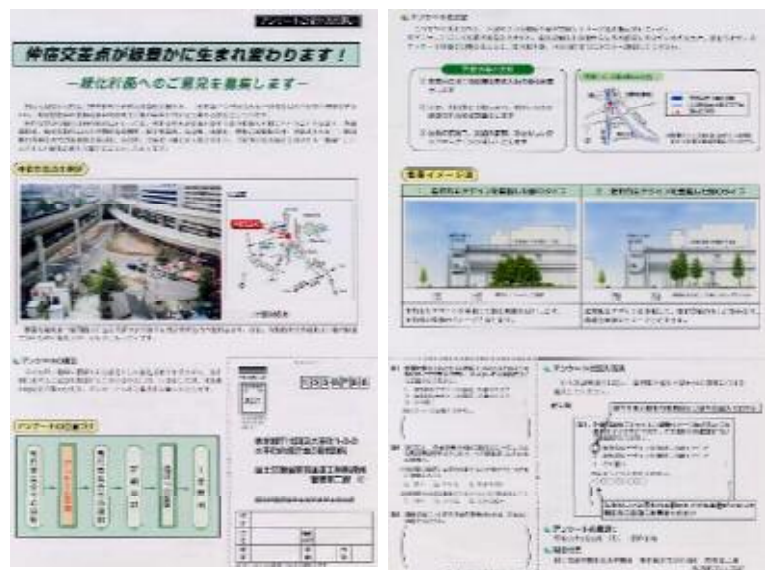
アンケート内容は委員会で検討し、①全体的なイメージの方向性を問うもの②緑地管理への参加意欲を問うもの③道路緑地に関する自由意見の3項目としました。

・ アンケート配布方法

計画地周辺の「板橋地域」に47,800枚を新聞折り込みにて配布。

・ 有効回答者数

382名(回収率0.8%) [図-1 返信ハガキ付きのアンケート用紙]



・ 調査結果

Q1: 自然的なデザイン重視68%、造形的なデザイン重視21%

Q2: 植樹帯の花壇などの管理活動に参加する33%、しない29%

記念植樹などのイベントに参加する35%、しない30%

Q3: (主な自由意見)

- ・ 維持管理の容易な計画とし管理・清掃をきちんと行って欲しい。
- ・ 四季を感じられる樹種、花の咲く木や草など植えて欲しい。
- ・ 自然な緑(量の確保)、リフレッシュ効果(憩い、安らぎ)を期待。
- ・ 気温上昇の防止、騒音の低減、大気汚染の改善を期待。

3. 整備計画の策定

前項の調査結果を踏まえ検討委員会での審議を進め、以下のような整備イメージを取りまとめました。

また、管理段階においても住民参加を可能とするためのメニューの検討やリサイクル材の積極的な使用など、環境面にも配慮した計画としました。

3.1 整備方針（整備イメージ）の決定

- ・ 緑の量をできるだけ多くし、自然的な景観（武蔵野の雑木林）とする。
- ・ 常緑樹、落葉樹（紅葉種）を織り混ぜ、四季を感じられる樹種とする。
- ・ 街道の歴史性を付加する観点から、石垣等を配置して部分的に一里塚を再現する。



[図-2 整備イメージパース]

3.2 地域住民との連携

- ・ 人のアクセスが可能な交通島においては、住民参加による緑地管理を導入する。
- ・ 住民参加手法として、「ボランティア・サポータープログラム」の適用を検討。
- ・ 住民から親しまれる事業とするために愛称「『みどりの一里塚』仲宿」を決定。

3.3 環境への配慮

- ・ 高架橋上部に降った雨水排水を桁下植栽の灌水に有効利用。
- ・ 国道の街路樹剪定枝葉から作成した堆肥(グリーンチップス)を植栽基盤に有効利用。
- ・ 国道の街路樹剪定チップ材をマルチング材として有効利用。
- ・ 間伐材の積極的な利用(ガードパイプ、横断防止柵、支柱材、花壇木製土留等)。
- ・ 板橋区が推進している、ワインビン・リサイクルブロックを歩道舗装に使用。

4. 情報の公開

4.1 記者発表

委員会での検討状況や事業整備の進捗に合わせて記者発表を行い、情報の公開に勤めました。

- ・ H13. 3. 15付け 「仲宿交差点緑化検討委員会設置・開催について」
～国道17号の緑化計画策定において幅広く市民の声を取り入れます～
- ・ H13. 8. 20 付け 「緑化計画へのご意見を聞かせて下さい」
～国道17号仲宿交差点の緑化計画に関するアンケートを実施します～
- ・ H14. 1. 31 付け 「国道17号仲宿交差点の緑化計画の骨子まとまる」
～事業箇所の呼び名は“『みどりの一里塚』仲宿”に～
- ・ H14. 7. 26 付け 「国道17号仲宿交差点の緑化工事着手」
～“『みどりの一里塚』仲宿”武蔵野の雑木林を再現～
- ・ H14. 10. 21 付け 「中山道“『みどりの一里塚』仲宿”完成」
～一般国道17号仲宿交差点の緑化工事完成式典開催～

4.2 計画内容の公表

委員会での検討は前項の「整備方針」を決定するまでであり、実際の植栽樹種、植栽本数や配植位置などは、別途詳細設計を実施しています。

検討委員会の経緯や詳細な植栽計画、また、アンケート結果がどのようなものであったかを工事着手前に公表することによって、地域住民に対して緑地整備計画（工事施工）への理解を得ることとしました。

・整備計画等の公表方法

委員会の検討経緯、植栽樹種やアンケート結果を取りまとめたリーフレット（全4面；右図）を作成し、アンケート用紙を配布した同じ区域に新聞折り込みとして配布。

部数：47,800枚



[図-3 説明リーフレット(抜粋)]

5. まとめ

当該箇所の緑地整備事業については、工事着手前に地元隣接町会を対象に工事説明会を行い、ごく身近に居住されている方たちの意見・要望等も受けながら工事を進め、平成14年11月3日に完成式典を開催しました。



[写真-2 整備完了後（現在）の仲宿交差点]

その後、区・地

元町会と協議を進め、平成15年8月1日にボランティア・サポート・プログラムの協定を締結し花壇の管理・清掃を地域の方々をお願いしています。

最後に、この“『みどりの一里塚』仲宿”が末永く板橋区民や道路利用者、そして小さな昆虫や小鳥たちにとって心休まる場所であり続けることを願い、本稿のまとめとします。